

The Record

2008-07 Vol.584



特集

2007年 世界の音楽産業

- 特報 Special Report

当協会公式HP著作権関連ページ刷新
「正しく・楽しく聴いて欲しいから 音楽CDと著作権」

- Watching!

共同原盤は共同でない?!



社団法人 日本レコード協会



Contents

Monthly News Digest	1
Watching!	
共同原盤は共同でない?!	3
特集	
2007年 世界の音楽産業.....	4
特報 Special Report	
当協会公式HP著作権関連ページ刷新 「正しく・楽しく聴いて欲しいから 音楽CDと著作権」	8
PICK UP.....	9
ショート・ストーリー 音楽のはなし	11
Monthly Production Report	12
GOLD DISC	13
Message & Opinion	14

5/17

AESコンベンション開催

5月17～20日、オランダ・アムステルダムにおいて、第124回AESコンベンションが開催された。当協会からは情報・技術部の北村部長と赤塚課長が参加した。

詳細は9ページに掲載。



5/20

IFPI中央理事会開催

5月21日、フランス・パリにおいて、IFPI（国際レコード産業連盟）中央理事会が開催された。当協会からは石坂会長の代理として情報・技術部の畑部長がオブザーバーで出席した。

詳細は9ページに掲載。

6/02

IFPIインターネット パイレシー会議開催

6月2～3日、ドイツ・ハンブルクにおいて、IFPI（国際レコード産業連盟）のインターネットパイレシー会議が開催された。当協会からは情報・技術部の畑部長と法務部の小峰が出席した。

詳細は9ページに掲載。

6/01

CODA、 中国国家版權局を訪問

6月1～6日、コンテンツ海外流通促進機構(CODA)のミッション派遣団は、中国の政府機関である、国家版權局や関連団体を訪問した。今回の訪問はCODA法制度委員会の高嶋委員長(株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント契約グループ本部長)を団長に、経済産業省、文化庁、会員社メンバーおよび当協会の顧問弁護士でもある前田哲男氏も参加し、当協会からは業務部の阿部担当部長と法務部の米内課長補佐が参加した。

詳細は10ページに掲載。

6/01

WEBサイト 「全日本CDショップ店員組合」 公開

6月1日、現役のCDショップ店員たちが中心となって運営する新しい音楽WEBサイト「全日本CDショップ店員組合」が公開された。

このサイトは、「CDショップの現場から音楽を盛り上げていきたい」「CDショップ店員一人ひとりの情報発信力を高めたい」という想いから生まれたサイトである。当協会もこのサイトを通じて、CDショップ店頭が活性化することを期待している。

● <http://www.cdshop-kumiai.jp>



このマークは、レコード会社が
提供するコンテンツを示す
(社)日本レコード協会の登録商標です

6/05

海外向け日本音楽情報 ポータルサイト 「日本音楽娯楽快線」開設

6月5日、当協会は最新の日本音楽情報を、アジアをはじめとする海外に向けて発信するインターネットポータルサイト「日本音楽娯楽快線」(中国名: 日本音乐娱乐快线 ~日本明星官方网站~, 英語名: JAPAN MUSIC ENTERTAINMENT)を開設した。

本サイトの特徴は、より多くの世界中の音楽ファンに日本音楽に興味を持ってもらうため、中国語・英語の2つの言語のサイトを用意したところにある。サイト制作にあたっては、株式会社オリコンの協力を得ることによって、総合エンタテインメントサイト「ORICON STYLE」から、コンテンツの提供を受けていく。

今後は、コンテンツの拡充、多言語展開を進めていき、日本音楽コンテンツのライセンス促進につなげていく。

● 中国語版

<http://www.jp-musicet.com/cn/>

● 英語版

<http://www.jp-musicet.com/en/>

6/11

音事協マネージャー養成講座 石坂会長講義

6月11日、東京都渋谷区の音事協会館において、(社)日本音楽事業者協会主催「JAMEマネージャー養成講座」で、当協会石坂会長が講義を行った。この講座はアーティスト・マネジメント業界を担う若手人材の育成を目的として、6月4日から開催されているもので、当協会も講座を後援している。

石坂会長は「レコードビジネスの現状と展望」をテーマに、約100名の受講生の前に、音楽マーケットの現状や、直面する

さまざまな課題について、自身の経験に基き詳細に解説を行った。

6/12

2008年度「携帯音楽を守りたいキャンペーン」開始

当協会では、携帯特設サイトおよび公式サイトで、2008年度「携帯音楽を守りたいキャンペーン」を開始した。このキャンペーンは、急増する違法な携帯電話向け音楽配信対策のため、2007年度より当協会会員社およびアーティストの協力を得て「携帯音楽を守りたい～違法な音楽ファイルの利用はやめましょう～」をキャッチコピーに、多くのアーティストとともに、携帯電話のメインユーザー層である若者に向けて、音楽創造のサイクルを守る大切さを訴えていくものである。

今年度の6月末現在の参加アーティストは以下の通り。(敬称略・50音順)

加藤ミリヤ/JYONGRI/

チャットモンチー/BONNIE PINK

6/24

私的録音録画補償金問題に係わる緊急記者会見開催

6月24日、東京品川区のガレリアホールにおいて、デジタル私的録画問題に関する権利者会議28団体と日本芸能実演家団体協議会加盟61団体は「Culture First」の一環として緊急記者会見を行った。

今回は5月29日以来の会見となるが、社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)の補償金問題に対する見解の発表、経済産業省と文部科学省のBlue-Rayを補償金の対象とすることでの合意、タビング10の開始決定などを受けて、権利者側の見解が述べられた。

「岩手・宮城内陸地震」被災地への義援金について

当協会は、6月14日の「岩手・宮城内陸地震」において被災地へ義援金100万円を寄付致しました。

被災地の皆さまにおかれましては、一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

2008年6月会議メモ

6/ 4	マーケティング委員会
6/10	法制委員会
6/11	広報委員会
6/12	レコード倫理審査会
	日本GD大賞委員会
6/13	情報・技術委員会
6/16	二次使用料委員会
6/18	海外市場拡大委員会
6/20	執行委員会
6/27	理事会

共同原盤は共同でない?!

弁護士 前田哲男

共同原盤契約と呼ばれる契約がある。レコード会社(A)と、アーティスト事務所など(B)が原盤制作費を出し合って、共同でレコード原盤を制作する契約だ。実務上、よく見かける契約である。

「共同」とはいつても、原盤の著作権隣接権は、レコード会社(A)に帰属する。「共有」とはされないのが普通である。なぜかという、Bに発生した著作権隣接権の共有持分は、Aに譲渡されるからである。Aは、その譲渡の対価として、「原盤印税」をBに支払う。

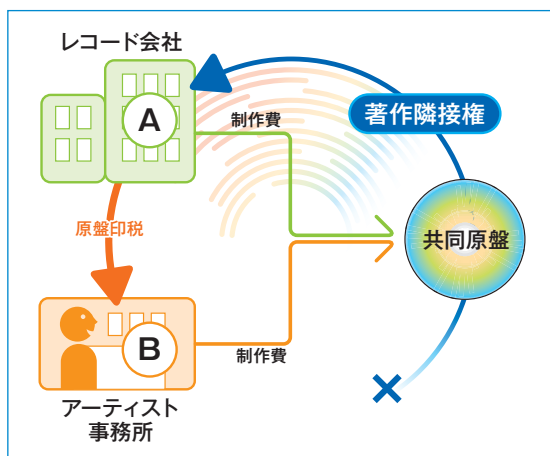
著作権隣接権がAに譲渡されることは、普通は、契約書に明記されている。だから、この点に疑問が生じる余地はない…はずであるが、「共同原盤なのだから、著作権隣接権も共有されているはずである」と考えている人もいる。しかし、共同原盤の著作権隣接権が「共有」されるのは、制作されたその瞬間のことにすぎない。同じ瞬間にBの共有持分は、Aに移転するのだ。

それなら「共同原盤」と表現するのがおかしい、という意見もありそうだ。しかし、「原盤譲渡契約」との関係を考えれば、そうおかしくはない。原盤譲渡契約では、原盤制作者が制作費を全額出資して原盤を制作したう、その著作権隣接権をレコード会社に譲渡し、その対価として原盤印税を受け取る。他方、レコード会社がアーティストと実演契約を締結し、レコード会社の全額出資で原盤を制作すること多い。共同原盤契約はその中間である。つまり、原盤の半分はレコード会社制作であり、残り半分については、原盤譲渡契約なのである。

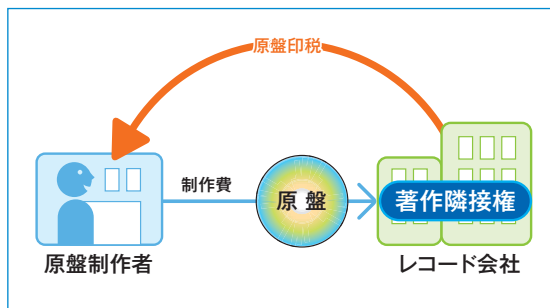
共同原盤の著作権隣接権は共有されないが、それにもかかわらず「原盤権」は共有されるという理解がある。その理解の背景には、「原盤権」という言葉の使い方の混乱がある。次号で詳しく説明する。

(8月号に続く)

■ 共同原盤契約



■ 原盤譲渡契約



前田哲男 (まえだ てつお)

1961年和歌山県生まれ。84年司法試験合格。85年東京大学法学部卒。87年弁護士登録。以降、映像・レコード・ゲームソフト・ソフトウェア・書籍等の著作権法関係を中心とする法律事務に携わる。現在、文化審議会著作権分科会専門委員、社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会理事、不正商品対策協議会監事、社団法人映画産業団体連合会監事などを兼任。

2007年 世界の音楽産業

IFPIは、2007年の世界の音楽産業の動向をまとめた"Recording Industry in Numbers 2008"を6月に発表した。「The Record」では、一連の記事をダイジェストで紹介する。

2007年 世界音楽売上実績と市場概況

2007年の世界音楽売上は194億米ドル(レコード会社収入ベース)で、2006年から8%減少した。この金額には、パッケージ(音楽CD、音楽DVD等)と音楽配信の売り上げの他、レコード会社の権利収入も含まれている。2007年、音楽配信売上と権利収入は前年に引き続き拡大した。しかし、これらの急成長も、パッケージ売上の減少を補うには至らなかった。

パッケージ売上は今もなお、音楽産業の収入の82%を占めているが、レコード会社収入ベースで159億米ドルと前年から13%減少した。

パッケージ市場においてはアメリカで18%、イギリスで16%減少し、両国で世界のパッケージ市場の落ち込みの5割強を占めている。また、地域別にパッケージ売上の動向を見ると、ヨーロッパでは12%減少であったが、アジアは比較的落ち込みのゆるやかな日本(6%減少)に支えられ、減少率は7%とヨーロッパより小さくなっている。

2007年のインターネットおよびモバイルでの音楽配信売上は29億米ドルと前年より34%の増加を記録した。音楽産業全体におけ

る音楽配信売上シェアは2004年がわずかに2%、2005年に5%、2006年に11%であったが、2007年には15%に達した。世界ベースでみると、インターネットでの音楽配信売上とモバイルでの音楽配信売上の割合は、ほぼ50対50で安定しているが、伸長率を見ると、2007年はインターネット音楽配信が上回った。具体的な伸長率はインターネット売上が46%、モバイル売上が26%、subscription*収入が9%であった。

※ subscription…定額制

■ メディア別売上金額 (レコード会社収入ベース)

金額：百万USドル

	2007年	2006年	前年比
パッケージ	15,873	18,326	▲13%
音楽配信	2,873	2,147	34%
権利収入	660	592	11%
合計	19,405	21,065	▲8%

出典：IFPI「RECORDING INDUSTRY IN NUMBERS 2008」

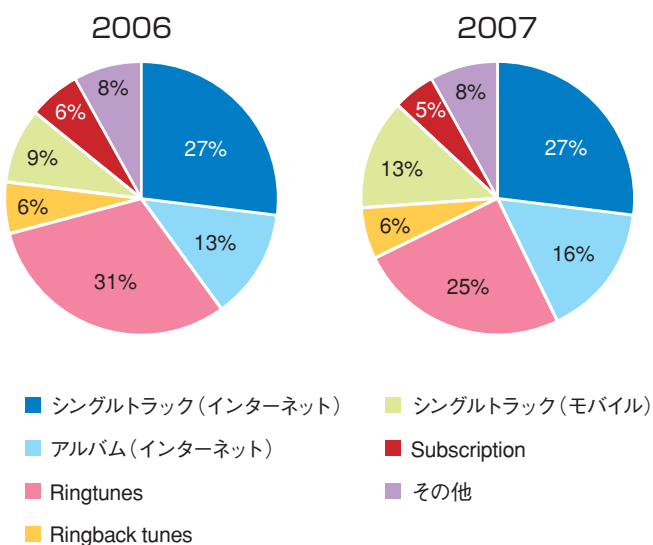
■ 2007年 総売上上位20カ国(パッケージ+音楽配信)

金額：百万USドル

	金額	前年比	シェア	パッケージ	音楽配信
1 アメリカ	6,035	▲9%	32%	4,559	1,476
2 日本	3,515	0%	19%	2,942	573
3 イギリス	1,914	▲14%	10%	1,744	170
4 ドイツ	1,479	▲4%	8%	1,392	87
5 フランス	1,014	▲18%	6%	935	79
6 カナダ	477	▲15%	3%	424	53
7 オーストラリア	403	▲10%	2%	370	33
8 イタリア	343	▲18%	2%	317	26
9 スペイン	277	▲23%	1%	252	25
10 オランダ	239	▲6%	1%	227	12
11 ロシア	219	▲2%	1%	216	3
12 メキシコ	190	▲19%	1%	175	15
13 ブラジル	182	▲27%	1%	167	15
14 スイス	179	▲6%	1%	168	11
15 ベルギー	169	▲5%	1%	158	11
16 南アフリカ	151	2%	1%	148	3
17 韓国	144	▲8%	1%	56	88
18 オーストリア	140	▲2%	1%	131	9
19 スウェーデン	137	▲11%	1%	127	10
20 インド	126	1%	1%	103	23
その他	1,412	▲4%	6%	1,262	150
合 計	18,745	▲8%	100%	15,873	2,872

※演奏権収入は除く。

■ 音楽配信売上フォーマットの推移



■ 2007年 音楽配信売上上位10カ国

金額：百万USドル

	金額	シェア
1 アメリカ	1476	51%
2 日本	573	20%
3 イギリス	170	6%
4 韓国	88	3%
5 ドイツ	87	3%
6 フランス	79	3%
7 カナダ	53	2%
8 オーストラリア	33	1%
9 中国	32	1%
10 イタリア	26	1%

出典：IFPI 「RECORDING INDUSTRY IN NUMBERS 2008」

モバイル音楽市場

2007年のモバイル音楽売上は前年より26%増加し、シングルトラック※1のダウンロード数は2倍に近い91%の増加になった。それでも、Ringtunes※2による世界モバイル市場の優位は続き、モバイル収入の52%を占めている。

アメリカとイギリスの調査によると、モバイル市場の発展を妨げる要因のひとつとして、消費者の多くが携帯電話をいまだに通話・メール用の装置と認識していることがあげられる。実際に、ヨーロッパの携帯電話使用者で音楽配信を利用しているのは13%のみである。(ジュピター・リサーチ「ヨーロッパの次世代音楽配信サービス」2008年)また、コンテンツを取得する際に、モバイルがほとんど利用されていない市場もある。これは、高機能端末が普及しておらず、データ量が大きいとダウンロード速度が限られ、また、データ通信料が高く、さらには提供サービスの魅力が乏しいためである。

とはいえ、携帯電話は音楽を聴くため、そして入手するための主要デバイスになると、多くの消費者は考えている。イギリスでの調査で

は、回答者の66%が携帯電話は将来的にメインのポータブル・メディアデバイスになると答えた。(2008年デジタル・エンターテインメント・サーベイ、エンターテインメント・メディア・リサーチ/Wiggin)

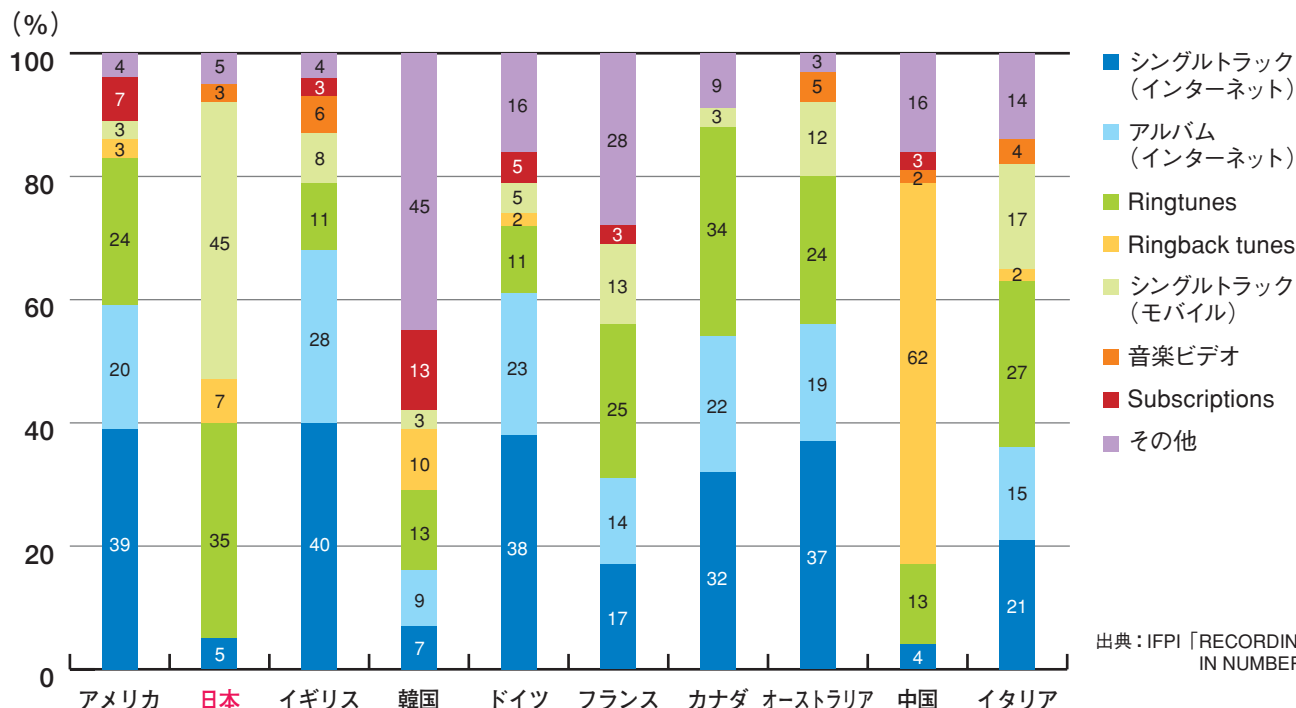
世界で携帯電話使用者1人当たりのモバイル音楽関連支出率が最も大きいのは日本とアメリカである。日本はRingtunesからシングルトラックへの移行に最も早く成功した市場のひとつであり、今ではシングルトラックが全モバイル収入の半分を占めている。

アメリカのモバイル市場ではRingtunesが主流で、全モバイル収入に占めるシングルトラックのシェアは10%にすぎない。しかし、シングルトラックのダウンロード金額は、2007年に2倍以上に増加した。この増加を後押ししたのは、音楽機能を充実させ、メモリ容量を増やした高機能端末の普及である。その一方で、消費者にとってのユビキタ性を実現するようなパソコンと携帯電話の相互接続を実現する新サービスも出始めている。

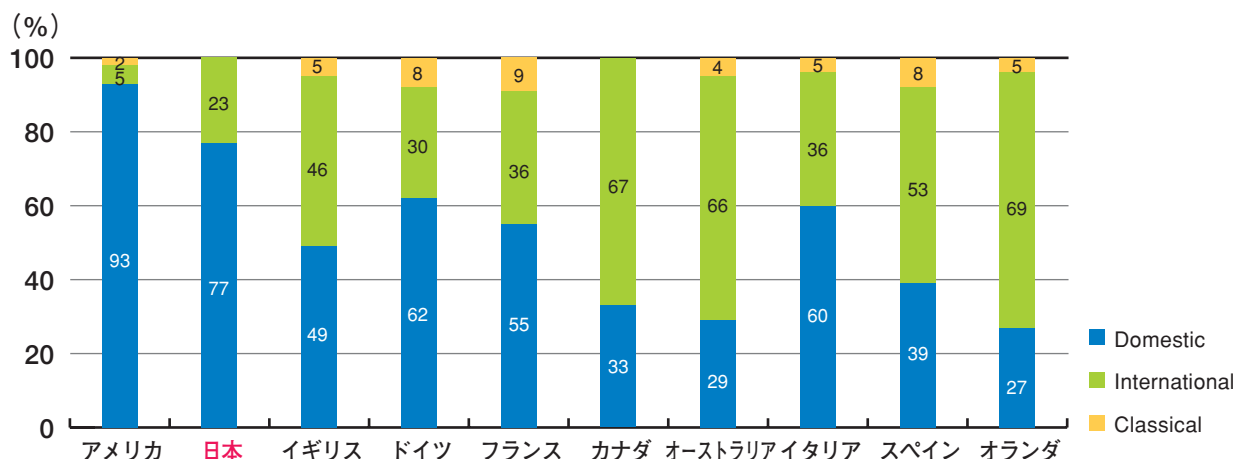
※1 シングルトラック…着うたフル®

※2 Ringtunes…着うた®等

2007年 上位10カ国フォーマット別音楽配信売上



■ 2007年 上位10カ国 国内制作・海外制作・クラシック売上比率(パッケージ)



世界から見た日本の音楽マーケット

日本は依然として世界第2位の音楽市場であり、パッケージの落ち込みが小さく、モバイルでの音楽配信の増加でパッケージ売上の減少をほぼ補った世界の先進国で唯一の国である。この日本独自のパッケージの頑張りを継続するとともに、レコード会社各社は独自のブランド等で音楽配信を行っており、市場で大きなシェアを獲得している。

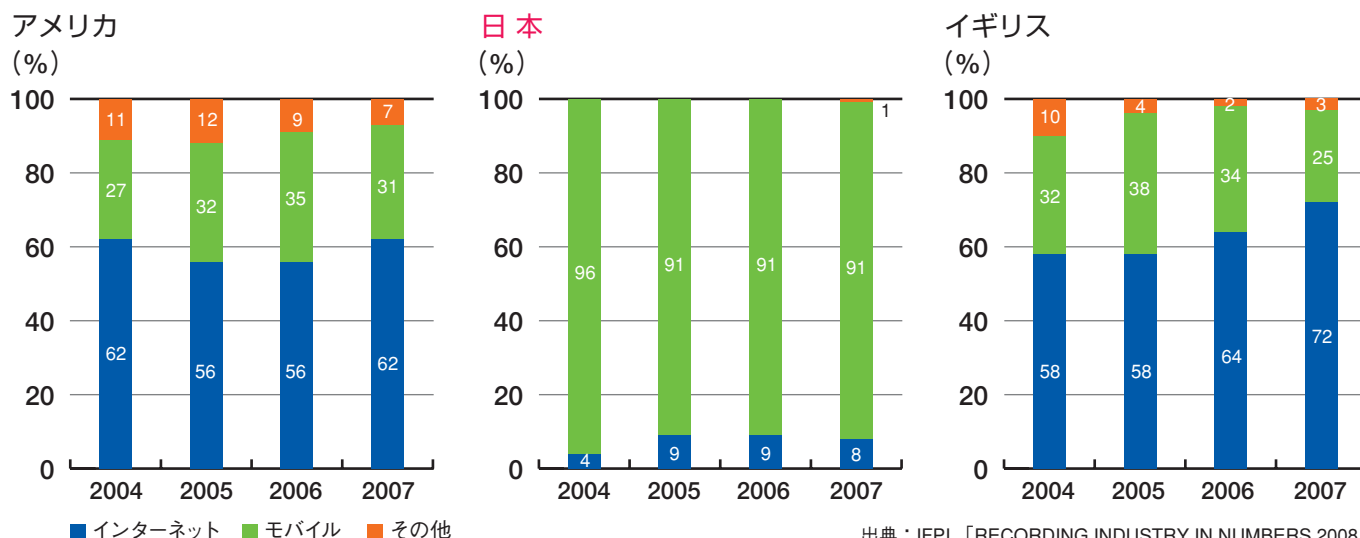
2007年は邦楽が健闘し、CDパッケージ市場に占めるシェアは2006年の74%から77%に増加した。歯科医大生である4人グループのGReeeeNはモバイル音楽市場でヒットを記録し、3rdシングルの『愛唄』は携帯電話へのダウンロードがシングルトラック*1として初めて100万ダウンロードを突破し

た。Ringtunes*2では、男性ボーカルデュオのコブクロのシングル曲『薔(つぼみ)』のダウンロードが300万件を超え、記録を更新した。

日本ではパッケージ海賊版の被害は比較的小さいが、モバイルでの違法行為が深刻な問題となっている。携帯電話使用者の中には、大量の音楽ファイルを違法に他者へ提供している者がおり、モバイルインターネット使用者の3分の1以上が、携帯端末で頻繁に違法な音楽ファイルを入手している。蔓延するモバイルでの違法行為への対策として、日本レコード協会はこの春、関係省庁、携帯電話事業者、コンテンツプロバイダー等の支援を受け、全国ネットのTVCMを用いた啓発キャンペーンを展開した。

※1 シングルトラック…着うたフル(R)
※2 Ringtunes…着うた(R)等

■ 上位3カ国配信売上・フォーマットの推移



出典：IFPI 「RECORDING INDUSTRY IN NUMBERS 2008」

「正しく・楽しく聴いて欲しいから 音楽CDと著作権」

当協会は、公式サイトにおいて、著作権制度に関するページを公開しているが、7月中旬、利用者の利便性の向上を目的とし、ページの刷新を行う。

これまで、当協会では、著作権啓発キャンペーン、教育機関への協力やセミナーなどを通じ、広く著作権啓発活動に積極的に取り組んでいるが、公式サイト上においても「著作権制度」と「著作権教育に取り組む教育関係者」の2つのコンテンツを掲載し、著作権の周知に努めてきた。

今回の刷新では、閲覧者がよりアクセスしやすいように2つのコンテンツを統合。また、より多くのニーズがあると考えられる音楽CDを中心とした初心者向けの著作権啓発ページを新設した。他にも著作権に関するQ&A、用語集の掲載、また文化庁をはじめとする著作権団体等の関連ページへのリンクなど、閲覧者が広範に著作権の知識を取得できるような構成となっている。



「正しく・楽しく聴いて欲しいから 音楽CDと著作権」ページの概要

初心者向けのページ

「音楽CDに関わる人と著作権」
「著作権法ってなに？」

中学生から一般を対象に著作権について初めて学ぶ人を対象としたコンテンツ。音楽CDの権利者（著作者、実演家、レコード製作者）の説明から、著作権法のレコード製作者の保護を中心とした内容を説明。また、コピー編、インターネット編などに大別したQ&Aでは、事例に基づいた回答が取得可能。

中級者向けのページ

「専門的な内容を知りたい方に」

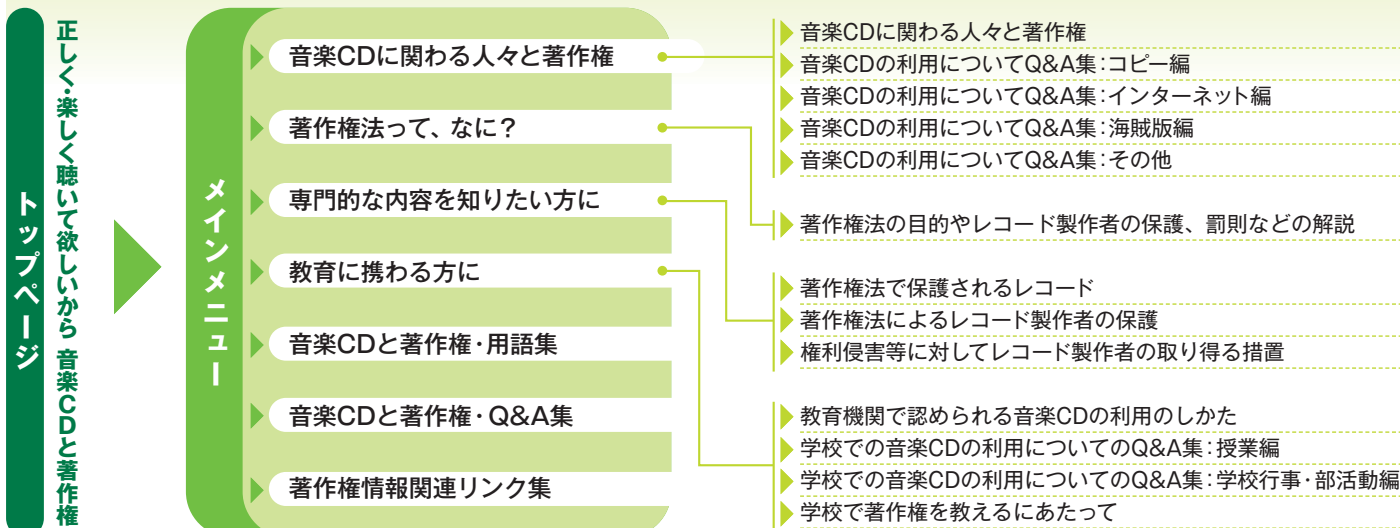
法律や著作権についてある程度の知識のある人をターゲットとしたページ。既存コンテンツを一部改訂し、簡易に説明。

教育関係者向けのページ

「教育に携わる方に」

著作権について知りたい、著作権について教えたいと思っている教員向けのページ。当協会の啓発ツールの実践例、学習指導案などの掲載の他、学校内での著作物や音楽CDの正しい活用方法についての概説、Q&Aを新たに追加。また、教育機関において適用される権利制限についても説明。

音楽CDと著作権ホームページ～構成チャート



PICK UP

今月のニュース・ピックアップ

PICK UP

AES (Audio Engineering Society) コンベンションアムステルダム2008

5月17～20日、オランダ・アムステルダムにおいて、第124回 AES (Audio Engineering Society) コンベンションが開催された。

AESは、米国ニューヨークに本部を置き、日本をはじめ世界各地に支部を有するオーディオ技術者、研究者など専門家の団体で、オーディオに関する唯一の国際組織である。毎年各地で、会議、セミナーと展示会を併せたコンベンションを行っており、今回はアムステルダムRAIコンベンションセンターで行われた。

当協会からは、情報・技術部の北村部長と赤塚課長が、「1. "Workshop 6"へのパネラー参加」、「2. アーカイブに関する国際標準調査」および「3. オランダ放送局のアーカイブ事情見学」等を目的に参加した。

5月17日に行われた「Workshop 6」 「TRENDS OF STORAGE TECHNOLOGIES FOR AUDIO RECORDING AND MASTERING」は、日本でのストレージやアーカイブに関わる最新情報を世界の音響関係者へ提供する目的で開催され、当協会から北村部長がパネラーとして参加し、当協会等6団体が取り組む「歴史的音盤アーカイブ推進協議会 (HiRAC)」の活動について、技術的な取り組みを中心にその概要を紹介した。

5月18～20日には、アーカイブに関する技術会議、規格会議、セミナー等に参加し、アーカイブの国際標準調査を行い、同20日にはオランダ放送局のアーカイブ現場の見学を行った。

PICK UP

IFPI中央理事会開催

5月21日、フランス・パリにおいて、IFPI (国際レコード産業連盟) 中央理事会が開催された。

IFPI中央理事会は毎年2回開催され、IFPIケネディ会長を議長とし、4メジャー社の代表、インディーズ代表、RIAA代表、主要地域IFPI加盟団体等の代表等によって構成されている。当協会からは石坂会長の代理として情報・技術部の畑部長がオブザーバーで出席した。

会議では、EUにおけるレコード保護期間延長の動向、中国に対するWTO提訴のパネル審理の進捗、インターネット違法対策に関する今後の方針、放送二次使用料・演奏権使用料徴収に関する今後の取り組み等、多岐にわたる重要テーマについて議論が行われた。

当協会からは、日本の音楽ソフト市場 (音楽配信を含む) の状況報告や、違法対策の取り組みを報告した。

PICK UP

IFPIインターネットパイラシー会議開催

6月2～3日、ドイツ・ハンブルクにおいてIFPI (国際レコード産業連盟) のインターネットパイラシー会議が開催され、当協会からは情報・技術部の畑部長と法務部の小峰が出席した。

インターネットパイラシー会議は、4メジャー社ならびに世界各国のIFPI加盟団体等のインターネット違法対策実務当事者が一堂に会し、各国の違法配信の状況や今後の対策・課題等を話し合う場として毎年IFPIが開催しており、本年は約60名が参加した。

会議では主にIFPIの違法対策に関する方針と活動の報告、また各国の侵害状況・対策状況の報告、新しい違法音楽ファイル探索システムについてのトレーニング等が実施された。

日本からは、携帯向け違法配信に対する技術的取り組み、Winnyに関するISPとの検討協議会の発足、TVCMにおいて展開した大型啓発キャンペーンの実施、識別マーク (エルマーク) の導入等の活動を紹介し、それぞれが先進的かつ興味深い取り組みであると参加者から高い評価を受けた。



会議の様子



PICK UP

今月のニュース・ピックアップ



コンテンツ海外流通促進機構(CODA) 中華人民共和国を訪問

6月1～6日、コンテンツ海外流通促進機構(CODA)のミッション派遣団は、中国におけるインターネット上の著作権侵害行為に対する削除要請の簡素化などを目的として、中国の政府機関である国家版權局や関連団体を訪問し、「協力と要請」の主旨のもと意見交換を行った。

今回の中国訪問は、CODAが参画する国際知的財産保護フォーラム(IIPPF)が毎年中国の政府機関などを訪問し、知的財産保護強化のための協力事業を推進するとともに、制度・運用の改善に関する意見交換を実施していることの一環として、法制度委員会のメンバーが中心となり派遣されたものである。

今回の訪問はCODA法制度委員会の高嶋委員長(株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント契約グループ本部長)を団長に、経済産業省、文化庁、会員社からはエイベックス・グループ・ホールディングス株式会社コーポレート企画本部国際戦略室管理部の矢島部長、知財戦略室契約管理部の市川部長と同平野氏、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント契約グループ契約2部の清水部長、同契約管理部の望月次長、サイバーアクションチームの高良課長、株式会社ソニー・ミュージックネットワークeビジネス2部の中山部長が参加。当協会の顧問弁護士でもある前田哲男氏も参加し、当協会からは業務部の阿部担当部長と法務部の米内課長補佐が参加した。

主な訪問先は北京にある国家版權局の他、中国のインターネットサービスプロバイダーの団体である中国インターネット協会や、国家版權局の下部組織である国家版權協会内にある海賊版撲滅委員会、IFPI北京事務所、中国のレコード会社である鳥人芸術推广、配信事業者である北京網尚文化伝播、著作権管理事業を行なっている源泉知識産権代理などである。

国家版權局に対しては過去数回に渡り、CODA構成メンバーで



ある関係団体を信頼性確認団体として認定し、国家版權局発行の「著作権行政苦情申立ガイド」による行政処分申立時の「認証機関の発行した証明」とするなどの提案を毎回要請してきたが、いずれも否定的な回答のみであった。6回目になる今回の訪問では、過去の粘り強い要請が功を奏し、先方から前向きに話し合う意向が伝えられ、進展が見られた。

また各訪問先では、中国国内におけるインターネット上の侵害行為に対する取り締まりは、行政処罰が最も短期間で効果の出る方策との説明を受け、国家版權局の前向きな姿勢をさらに活用して、日本コンテンツの侵害行為の解決の糸口と成り得るとの認識を深めることができた。

さらに中国国内における侵害取り締まりのスキーム構築の提案などもあり、CODAでは今後国家版權局や関係先等と連携を深め、中国国内で蔓延している日本コンテンツのインターネット上における著作権侵害行為に対して、権利者が削除要請や行政申立を行う際の基盤をつくり、侵害対策に積極的に取り組むとともに日本コンテンツの流通促進に寄与していく予定である。

★CODAとは・・・

■ 名 称：コンテンツ海外流通促進機構(CODA) Content Overseas Distribution Association

■ 設 立：2002年4月16日

■ 目 的：CODAは、日本の著作権関係団体やコンテンツ産業等が積極的に海外に事業展開を図るとともに、海外における海賊版対策を講じていくため、経済産業省、文化庁のよびかけにより設立された組織。日本のコンテンツ業界が一致協力し、海外における知的財産の保護強化の協力事業を推進している。

IIPPFのミッションにおいては、著作権関連を中心に制度・運用の改善に関する建設的な意見交換に貢献している。

■ ホームページ：www.coda-cj.jp/

■ 事務局：日本貿易振興機構(JETRO)

音楽と旅



「12年生まれ? すいぶん若く見えますね」
「ええ、よく言われます」
「でも、49歳ですよ」

昭和46年初夏、羽田空港の出入国管理官は訝しように、何度もパスポートの写真と私を見比べた。私にとっては初めての単独海外出張。しかも旧ソ連邦レニングラード(現在のサンクトペテルブルグ)のホテルで先発組と合流する約束になっていた。

「確認ですが、大正12年生まれですよ」
「えっ、私は昭和の生まれですが…」

指摘された私の生年月日は「1923年」。

「これでは出国を認められません」

慌てふためいた私は、現地へ向かわねばならない事情を必死になって説明した。「何しろソ連ですから、収監や送還されても責任は持てませんよ。無事に入国出来たら、日本総領事館へ行き、速やかに訂正して貰うように」という条件つきでひとまず出発はできた。

当時、航路はアラスカ経由の北周り。延々と続くマンモスの爪跡のようなツンドラ地帯を窓外に見下ろしながら、「ここへ流刑されたら…」などと恐怖を抱いたまま目的地へ到着。思い切り顎を引き締め、肩を厳らせて無事イミグレーションを通過した。ネヴァ河からの潮風が爽やかだった。

大荷物を抱えてホテルに辿り着くと、ダークダックスのメンバーが出迎えてくれた。この時から彼らにとっては16年ぶりの「ソ連邦

演奏旅行」に、同行できたことで私の「音楽の旅」が始まった。

私の役割は、記録係と舞台マネージメントのサポートが建前。じつはゲタさんこと喜草哲さん(バリトン)に代わる麻雀要員であったようだ。

白夜のレニングラードを皮切りに、エストニア、ラトビア、リトアニアのバルト3国からウクライナの首都キエフを経て、首都モスクワ公演まで、20日間にわたるツアーが続いた。開演は夜8時。ホテルに戻るのは11時過ぎ。粗食に耐えねばならなかったが、各会場とも超満員の聴衆が来場し、ダークの人気の高さを目の当たりにすることができた。レニングラードホテルのピアノ付の一室で、入手した当地のヒット曲を喜草哲がその場で日本語に訳詞。高見澤宏(パクさん、トップテナー)、遠山一(ゾウさん、バス)らが編曲し、初日のレパートリーに加えた「つる」(作詞:ガムザトフ、作曲:フレンケリ)は、「戦に命捨てても死んではいけないあなた」というフレーズのように、私の心の中に37年経っても息吹いている。

ソ連ツアーを無事に終えた私は、佐々木行(マンガさん、リードテナー)とフィンランド、ノルウェー、デンマークを回り、ピレーネ山脈を越えてスペインへ。さらにパリまで10日間にわたる「ぶらり旅」を続けた。ソ連ツアー中、毎夜、麻雀牌を囲んだ戦績が旅費の足しになった。

コペンハーゲン駅前の「竹園」で食べた中華そばと当時、マドリッドに在住していた長嶺ヤス子さん(ダンサー)宅でご馳走になったスープ、ガスパチョの味も忘れられない。



反畑 誠一(たんばた せいいち)

上智大学文学部新聞学科卒業後、女性誌副編集長を経て、1981年から音楽評論家として活動に専従。新聞・雑誌・ラジオ・テレビ等のメディアを通じて、J-POPを中心にしながらも、ジャンルを超え幅広い視野に立っての評論活動を精力的に展開している。またアジア各国の音楽産業事情を現地視察するなど、アジアの音楽文化・産業市場の調査・分析の第一人者でもある。立命館大学客員教授(「音楽文化・産業論」「現代メディア運営論」)、(社)全国コンサートツアー事業者協会理事、日本レコード大賞常任実行委員などを務めている。

Monthly Production Report

2008年5月度レコード生産実績

5月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比100%の2,385万枚・巻、金額で同99%の273億円となりました。

このうち、オーディオレコードは、数量で前年同月比94%の1,954万枚・巻、金額で同95%の227億円となり、また、音楽ビデオは、数量で前年同月比141%の430万枚・巻、金額で同119%の46億円となりました。

● オーディオレコード

（数量：千枚・巻／金額：百万円）

			5月実績						2008年1月～2008年5月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
シ ン グ ル	8cmCD	邦	32	0	91%	23	0	158%	110	0	93%	62	0	112%
		洋	0	0	0%	0	0	0%	28	0	25%	3	0	16%
		計	32	0	77%	23	0	126%	139	0	60%	65	0	86%
	12cmCD	邦	4,442	23	88%	3,482	15	92%	21,683	22	84%	16,337	14	85%
		洋	53	0	106%	26	0	73%	281	0	119%	92	0	66%
		計	4,495	23	88%	3,508	15	92%	21,964	22	84%	16,429	14	85%
	小計	邦	4,474	23	88%	3,505	15	92%	21,793	22	84%	16,399	14	85%
		洋	53	0	94%	26	0	66%	310	0	89%	95	0	60%
		計	4,528	23	88%	3,530	16	92%	22,103	22	84%	16,494	14	85%
	12cmCD アルバム	邦	9,147	47	97%	12,384	55	103%	51,223	52	96%	73,731	62	96%
		洋	5,422	28	95%	6,291	28	84%	22,754	23	85%	25,826	22	81%
		計	14,569	75	96%	18,675	82	96%	73,977	75	92%	99,557	84	91%
CD 合計		邦	13,621	70	94%	15,889	70	100%	73,016	74	92%	90,130	76	94%
		洋	5,475	28	95%	6,317	28	84%	23,064	23	85%	25,921	22	81%
		計	19,096	98	94%	22,206	98	95%	96,080	98	90%	116,051	98	90%
アナログ ディスク		邦	4	0	53%	7	0	81%	57	0	87%	83	0	80%
		洋	19	0	442%	43	0	938%	33	0	111%	62	0	128%
		計	22	0	203%	50	0	377%	90	0	95%	145	0	95%
カセット テープ		邦	385	2	79%	329	1	84%	2,026	2	79%	1,662	1	84%
		洋	0	0	-	0	0	-	0	0	17%	0	0	26%
		計	385	2	79%	329	1	84%	2,026	2	79%	1,662	1	84%
その他		邦	30	0	175%	57	0	183%	127	0	78%	226	0	72%
		洋	10	0	106%	20	0	108%	47	0	68%	98	0	79%
		計	40	0	150%	77	0	155%	174	0	75%	324	0	74%
合 計		邦	14,040	72	93%	16,281	72	100%	75,226	76	91%	92,101	78	93%
		洋	5,504	28	95%	6,380	28	84%	23,144	24	85%	26,082	22	81%
		計	19,544	100	94%	22,661	100	95%	98,371	100	90%	118,183	100	90%

● 音楽ビデオ

		5月実績						2008年1月～2008年5月累計					
		数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
DVD	邦	3,777	88	139%	4,006	86	119%	21,341	93	104%	27,598	91	144%
	洋	506	12	166%	613	13	119%	1,660	7	105%	2,585	9	107%
	計	4,284	100	142%	4,618	100	119%	23,001	100	104%	30,183	100	140%
テープ・LDその他		18	0	61%	20	0	69%	49	0	23%	108	0	43%
合 計	邦	3,796	88	140%	4,025	87	119%	21,389	93	104%	27,703	91	143%
	洋	506	12	154%	613	13	117%	1,661	7	99%	2,588	9	106%
	計	4,302	100	141%	4,638	100	119%	23,050	100	103%	30,291	100	138%

● 音楽ソフト（オーディオ／音楽ビデオ合計）

			5月実績						2008年1月～2008年5月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオ			19,544	82	94%	22,661	83	95%	98,371	81	90%	118,183	80	90%
音楽ビデオ			4,302	18	141%	4,638	17	119%	23,050	19	103%	30,291	20	138%
合 計			23,846	100	100%	27,299	100	99%	121,420	100	92%	148,474	100	97%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

			5月実績						2008年1月～2008年5月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
DVD			6,760	100	137%	11,585	100	130%	38,893	100	98%	75,951	99	112%
テープ・LDその他			25	0	11%	47	0	31%	119	0	23%	385	1	60%
合 計			6,785	100	132%	11,632	100	129%	39,012	100	97%	76,336	100	112%

● オーディオ／ビデオ合計

			5月実績						2008年1月～2008年5月累計					
			数 量	構成比	前年 同月比	金 額	構成比	前年 同月比	数 量	構成比	前年 同期比	金 額	構成比	前年 同期比
オーディオ			19,544	74	94%	22,661	66	95%	98,371	72	90%	118,183	61	90%
ビデオ			6,785	26	132%	11,632	34	129%	39,012	28	97%	76,336	39	112%
合 計			26,329	100	101%	34,293	100	104%	137,382	100	92%	194,519	100	98%

備考 1. 上記実績は、会員会社「46社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

音楽ソフト

邦 楽

アルバム

● ミリオン

HEART STATION	宇多田ヒカル	2008.03.19	EMI
---------------	--------	------------	-----

● プラチナ

CLIMAX ~DRAMATIC SONGS	Various Artists	2007.08.22	MH
TOKYO STAR	加藤ミリヤ	2008.04.02	SR
Superfly	Superfly	2008.05.14	WJ

● ゴールド

虹	Aqua Timez	2008.05.08	ES
T	東方神起	2008.01.23	AMI
蝶	V6	2008.05.28	AMI
mihimarisie	mihimaru GT	2008.05.28	UM

シングル

● ダブル・プラチナ

そばにいるね	青山テルマ feat. SoulJa	2008.01.23	UM
Love so sweet	嵐	2007.02.21	JA

● プラチナ

DON'T U EVER STOP	KAT-TUN	2008.05.14	JA
キセキ	GReeeeN	2008.05.28	UM
SUMMER TIME	NEWS	2008.05.08	JE
Mirrorcle World	浜崎あゆみ	2008.04.08	AMI
Dreams come true	Hey! Say! JUMP	2008.05.21	JA

● ゴールド

Prisoner Of Love	宇多田ヒカル	2008.05.21	EMI
O2	ORANGE RANGE	2008.05.28	SR
輪島朝市	水森かおり	2008.04.02	TJC

ビデオ

● ゴールド

Hey! Say! JUMP	Hey! Say! JUMP	2008.04.30	JA
デビュー&ファーストコンサート いきなり!! in 東京ドーム			

洋 楽

アルバム

● プラチナ

ハード・キャンディー	マドンナ	2008.04.30	WJ
------------	------	------------	----

● ゴールド

サンクフル	ケリー・クラークソン	2003.07.23	BMG
-------	------------	------------	-----

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた(R)、着うたフル(R)、パソコンダウンロード・シングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万毎に賞を設定		

基準単位：音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)
※着うた(R)のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/
AMI:エイベックス・マーケティング/BG:ビーグラムレコーズ/
BM:バーミリオンレコード/BMG:BMG JAPAN/
C:コロムビアミュージックエンタテインメント/CR:日本クラウン/DD:フライドライズ/パウンディ/DF:デフスターレコーズ/DRM:ドリーミュージック・/EMI:EMIミュージック・ジャパン/EP:アップフロントワークス(ゼティマレーベル)/ES:EPICLORDジャパン/FK:ファイブズエンタテインメント/FL:フォーライフミュージックエンタテインメント/GN:ジェネオン エンタテインメント/GZ:ギザ/HSE:DOMINO RECORDING CO/HOST-ESS/HY:東屋慶名建設/JA:ジェイ・ストーム/JE:ジャニーズ・エンタテインメント/JK:ユナイテッド・アジアエンタテインメント/K:キングレコード/KS:キューンレコード/MH:ソニー・ミュージックダイレクト/NM:ノーザンミュージック/ON:ビーヴィジョン/PAR:プライエイド・レコーズ/PC:ボニー・キャニオン/PK:ピッコロタウン/PZ:ピザ・オブ・デス・レコーズ/QQ:バームビッチ/RR:ロードランナー・ジャパン/SE:エスエムイーレコーズ/SI:ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル/SM:ミュージックレイン/SN:SENHA & CO./SR:ソニー・ミュージックレコーズ/SV:アニプレックス/TE:テイチクエンタテインメント/TF:トイズファクトリー/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/TLM:タイシタレーベルミュージック/UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクターエンタテインメント/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/XL:アンリミテッドグループ/YR:アール・アンド・シー

有料音楽配信(「着うた(R)」他)

「着うた(R)」

邦 楽

● ミリオン

キセキ	GReeeeN	2008.04.19	UM
-----	---------	------------	----

● ダブル・プラチナ

虹	Aqua Timez	2008.04.17	ES
HOME	清水翔太	2008.01.09	SR
愛をこめて花束を	Superfly	2008.01.11	WJ

「着うたフル(R)」

邦 楽

● ミリオン

マタアイマショウ	SEAMO	2006.04.05	BMG
----------	-------	------------	-----

● ダブル・プラチナ

羞恥心	羞恥心	2008.04.09	PC
-----	-----	------------	----

● プラチナ

虹	Aqua Timez	2008.05.06	ES
帰りたいくなったよ	いきものがかり	2008.04.16	ES
home	木山裕策	2008.01.24	AMI
愛をこめて花束を	Superfly	2008.01.16	WJ
チェリー	スピッツ	2006.03.25	UM

● ゴールド

おかえり	絢香	2008.05.14	WJ
真夏のオリオン	INFINITY16 welcomez	2007.09.05	UM
Can You Keep A Secret?	宇多田ヒカル	2004.11.19	EMI
let go	m-flo loves YOSHIKA	2006.07.26	AMI
たしかなこと	小田和正	2007.11.28	BMG
Missing	久保田利伸	2007.07.18	SE
MOTHER	SEAMO	2008.05.07	BMG
Hi-Five	Superfly	2008.04.01	WJ
それが大事	大事MANブラザーズバンド	2005.10.19	BMG

Pray	Tommy heavenly6	2006.07.05	DF
ONE LOVE feat. 清水翔太	童子-T	2007.07.18	UM
修羅	DOES	2007.05.16	KS
Mirrorcle World	浜崎あゆみ	2008.04.08	AMI
いつか離れる日が来ても	平井 堅	2008.04.23	DF
キャンパス	平井 堅	2008.02.20	DF
Ash Like Snow	the brilliant green	2008.02.06	DF
モノクローム	BENNIE K	2008.01.30	FL
夏祭り	Whiteberry	2006.06.28	MH
初恋	村下孝蔵	2006.05.24	MH
Together	MONKEY MAJIK	2008.04.11	AMI

洋 楽

● ダブル・プラチナ

ガールフレンド	アヴリル・ラヴィーン	2007.03.21	BMG
---------	------------	------------	-----

● ゴールド

ルーズ・マイ・プレス	デスティニーズ・チャイルド	2004.11.04	SI
マイルズ・アウェイ	マドンナ	2008.05.19	WJ
アンブレラ FEAT. ジェイ.Z	リアーナ	2007.05.09	UM
スノー(ヘイ・オー)	レッド・ホット・チリ・ペッパーズ	2006.05.10	WJ

PC配信(シングル)

邦 楽

● ゴールド

Prisoner Of Love	宇多田ヒカル	2008.04.07	EMI
マタアイマショウ	SEAMO	2006.04.05	BMG
ボクノート	スキマスイッチ	2006.03.01	BMG
全力少年	スキマスイッチ	2005.04.20	BMG
泰(かなで)	スキマスイッチ	2004.03.10	BMG
チェリー	スピッツ	2006.03.10	UM

洋 楽

● ゴールド

ガールフレンド	アヴリル・ラヴィーン	2007.02.27	BMG
---------	------------	------------	-----

※日付は配信開始日

音楽の力

Message & Opinion



日本レコード協会 顧問 田辺 攻

私の母は9年前75才で亡くなりました。

59才の時アルツハイマー病と診断され余命10年と宣告されましたが、当時この病気に対する世の中の認識は低く、私たち家族は回復を願ってあちこちの病院を訪ねて歩きました。しかしながら母の病気は徐々に進み、4年間の在宅看護の後、やむなく特別擁護老人ホームの世話になり、最後の数年間は意識や表情が無くなり点滴に頼っていました。

毎日のように病院に通い続けていた父は、ある時母が好きだった童謡をカセットに編集し枕元でかけてみました。すると意識や表情の無かった母が「みかんの花咲く丘」の曲が流れると目からうっすらと涙を流し始めました。母は小さい頃みかん畑があった伊豆に住んでいたことがあり、家族旅行でもよく伊豆に出かけていました。「みかんの花咲く丘」のメロディがこうした母の昔の体験や潜在意識を呼び起こしたものと思われます。言葉や表情による意思疎通が出来なくても、音楽によって母と心をつなぐことが出来て私たち家族は救われた気持ちになりました。

発病から余命10年と診断された母が結果として倍近く生き延びられたのは、音楽の力によるところが少なくありません。母の葬儀で出棺の際には彼女が好きだった「みかんの花咲く丘」をレクイエムとして捧げ送り出しました。

92才になった父は今でも時々ピアノに向かいますが、クラシックよりも童謡や唱歌を弾くことが多くなりました。父の長生きの秘訣も音楽にあるようです。

私もこうした素晴らしい音楽の世界で多くの人々に支えられ、働いて来れた幸せを今改めて感じています。

編集後記

584号を迎える「THE RECORD」ですが、今月号よりリニューアルを致しました。必要な情報をよりわかりやすく掲載し、魅力的な誌面を皆さまに提供できるようスタッフ一同取り組んで参ります。10年後、20年後に本誌を読み返した時、今の音楽産業が確かに刻まれているような一冊でありたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

(T)

協会からのお知らせ

本誌でも紹介しましたが、当協会は6月5日に、海外向け日本音楽情報のポータルサイト「日本音楽娯楽快線」(中国名:日本音乐娱乐快线~日本明星官方网站~、英語名: JAPAN MUSIC ENTERTAINMENT)を開設しました。本サイトは、中国語と英語のサイトで構成され、最新の日本音楽の情報を海外に向けて、継続的かつ定期的に発信していきます。

中国語版 <http://www.jp-musicet.com/cn/>

英語版 <http://www.jp-musicet.com/en/>



携帯音楽を守りたい

違法な音楽ファイルの利用はやめましょう



<http://www.mamo-on.jp>

THE RECORD No.584 2008年7月号

社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 石坂 敬一
編集人 生野 秀年
発行日 2008年7月10日
発行人 社団法人 日本レコード協会
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F
TEL. 03-6406-0510(代) FAX. 03-6406-0520(代)
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

Respect
our **MUSIC**